



えひめ

Contents

- ・世界のクルーズ船事情の紹介
- ・松山-台湾便が2019年7月18日(木)就航
- ・重信川総合水防演習が2019年5月12日(日)開催
- ・東予港、宇和島港、松山港 テロ対策訓練
- ・松山西部地区危機管理連絡会 発足
- ・松山工業高校2年生現場見学会
- ・ドローン講習会
- ・若手職員コラム



大型クルーズ船が
寄港予定の岸壁
(2019年3月工事完了)



2019年5月21日及び6月3日に松山港に寄港予定の大型クルーズ船
「ダイヤモンド・プリンセス」

世界のクルーズ船事情の紹介



近年、世界中でクルーズ旅客数が急速に増加しており、それに伴ってクルーズ船の便数や寄港地数も増加しています。クルーズ船が寄港するということは、寄港地を中心に一度に多くの観光客が訪れ、グルメ、ショッピングなど地域での消費が生まれるとともに、外国人観光客との交流が進展するなど、地方創生に大きく寄与します。

国土交通省では、「明日の日本を支える観光ビジョン」(2016年3月30日)にて、「訪日クルーズ旅客を2020年に500万人」という目標を掲げ、クルーズ振興に取り組んでいます。2018年の訪日クルーズ旅客数(速報値)は244.6万人となっており、日本へのクルーズ船の寄港回数は2,928回(うち愛媛県67回)で過去最多となっています。



ばしふいっくびいなす(松山港)
全長183.4m、26,594トン



シルバー・シャドー(松山港)
全長186m、28,258トン



にっぽん丸(今治港)
全長166.6m、22,472トン



カレドニアンスカイ(宇和島港)
全長90.6m、4,200トン

上の4枚の写真は、愛媛県内に寄港したクルーズ船の一例です。様々な船が各地に寄港しており、国内や海外からの旅行者が観光などを楽しまれています。

クルーズ船での旅行と聞くと、費用面等の問題で身構えてしまうこともあるかと思いますが、実際はサービスクラスも「カジュアル、プレミアム、ラグジュアリー」などがあり、旅行代金や日程、寄港地やツアープランなども多種多様です。飛行機や新幹線での旅行とはひと味異なり、ゆっくりとした贅沢な時間が過ごせるということでリピーターの方も数多くいらっしゃるそうです。ご興味がある方は是非一度お調べ頂き、船での優雅な旅行を楽しんでいただければと思います。

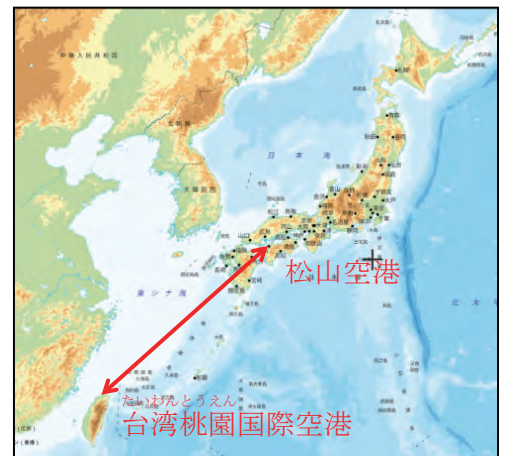
松山ー台湾便が2019年7月18日(木) 就航

松山空港では、現在国内線9航路(札幌、羽田、成田、中部、関西、伊丹、福岡、鹿児島、那覇)、国際線2航路(ソウル、上海)が就航しています。

これらに加え、2019年7月18日には「台湾」航路が毎週木、日曜日の週2日、1往復ずつ就航することが発表されました。本航路を観光やビジネスなどで多く利用して頂くことにより、国際交流や地域経済の活性化が期待されます。

運行ダイヤ(現地時間)

台湾桃園国際空港発	6:45	→	松山空港着	10:10
松山空港発	11:20	→	台湾桃園国際空港着	13:05



地図出典: 国土地理院

重信川総合水防演習が2019年5月12日(日) 開催



愛媛県松山市井門町地先にて、9:00~12:00の予定で『2019重信川総合水防演習』が開催されますので、告知します。
(入場無料)

また当日は、重信川流域の5市町(松山、伊予、東温、松前、砥部)全域に緊急速報メール【訓練】が配信されますので、併せて周知させていただきます。

東予港港湾保安対策総合訓練 及び港湾保安設備に対する合同点検

H31.1.22(火)に東予港東港地区東港(-7.5m)岸壁において、テロ対策の強化に向けた総合訓練及び合同点検を実施しました。東予港においては、東予港港湾保安委員会を設置するなど関係機関と連携しテロ対策に取り組んでおり、その一環として実施したものです。

午前中は、不審者1名を港湾SOLAS制限区域内で発見したという想定のもと、発見者による通報から警察による取調べまでを行いました。午後は、フェンスや監視カメラ、監視局舎等の保安設備を合同点検した後、意見交換会を行いました。

当日は愛媛県東予地方局を始め、今治海上保安部、神戸税関、新居浜警察署、新居浜市、西条市、当事務所など多数の関係機関が参加し、訓練を連携して行いました。



総合訓練の様子
(警察による事情聴取)



合同点検の様子
(ゲート周辺の確認)

宇和島港港湾保安対策総合訓練

H31.2.6(水)に宇和島港坂下津地区坂下津第2号岸壁において、関係機関の連携と事案発生時の対応能力の向上を図ることを目的に、テロ対策合同訓練を実施しました。

当日は愛媛県南予地方局を始め、宇和島海上保安部、神戸税関、宇和島警察署、高松入国管理局、四国運輸局、宇和島市、宇和島地区広域事務組合消防本部、宇和島水産高校、エスエスケイ SHIPPING(株)、森実運輸(株)、全日本海員組合及び当事務所の計13機関が参加し、テロリストが船をシージャックしたという想定のもと、事案発生からテロリスト補足・爆発物処理まで、段階に応じた8つの訓練を行いました。終始緊迫した雰囲気の中、各機関が円滑に連携し、事態収拾にあたりました。



総合訓練の様子
(開始宣言)



総合訓練の様子
(逃走船制圧)

松山港埠頭総合訓練

H31.2.13(水)に松山港外港地区第1埠頭において、テロ対策総合訓練を実施しました。この訓練は、関係機関の連携を深め、訓練を通して問題点の抽出と改善等を行うことにより、松山港の保安の向上を図るとともに、テロ対策にかかる関係機関の連携等を広く県民にアピールし、体感治安の向上を図ることを目的としています。

当日は愛媛県中予地方局を始め、松山海上保安部、松山西警察署、神戸税関、高松入国管理局、四国運輸局、四国公安調査局、愛媛総合警備保障(株)、(公社)松山市シルバー人材センター、当事務所など多数の関係機関が参加し、入港中の外国籍客船にテロリストが乗船しているという想定のもと、松山港港湾危機管理コアメンバーの緊急招集、情報伝達、負傷者救助、不審者制圧などの有事対応訓練を連携して行いました。



総合訓練の様子
(不審者制圧)



総合訓練の様子
(爆発物処理)

松山西部地区危機管理連絡会 発足

H31.1.29(火)に、松山西部地区危機管理連絡会の発足式が開催されました。

本連絡会は、大規模災害をはじめ、住民等に重大な被害が及ぶことが予想される事象が発生した場合につき、平素から松山西部地区の防災機関、医療機関その他住民等の安全確保に不可欠な機関等が連携を強化し、有事の際の対応に係る検討、情報交換等を行うことにより、被害を最小限に止めることを目的としています。

幹事は松山海上保安部、大阪航空局松山空港事務所、松山市西消防署、済生会松山病院、愛媛県松山西警察署及び当事務所の6機関となっています。



発足式の様子

松山工業高校2年生 現場見学会

当事務所は愛媛県港湾海岸課と連携し、平成31年2月19日(火)に松山工業高等学校2年生40名を対象に現場見学会を実施しました。

この見学会は、教科書に無い実際の現場を見学するとともに、「みなと」の役割について学び、見識を広げてもらうことで、将来を担う土木技術者の育成に寄与することを目的としています。

当日はあいにくの雨でしたが、学生たちは傘を差して工事現場(松山港外港地区第1ふ頭2号岸壁)を見学し、普段見る機会の少ない『生の土木作業現場』に強く関心を寄せているようでした。また、会議室で松山港外港地区国際物流ターミナル整備事業について説明した際は、「防波堤で防ぐことのできる波の高さは何mくらいか」「背後地の埋立に要する期間はどの程度か」など多くの質問が寄せられ、港湾の仕事に興味を持ってもらえたのではないかと感じました。



当事務所職員による説明



愛媛県職員による説明



工事現場の見学

ドローン講習会

平成31年2月14日(木)に、四国地方防災エキスパートチームによるドローン講習会を実施しました。

この講習会は、災害発生時等の調査力強化を目的としており、防災エキスパートが保有するドローンを使用し、操作方法や留意事項について知識を深めました。

午前中は当事務所の会議室にて、ドローンに関する基礎知識や組み立て方、飛行ルールなどの講習を行いました。午後からは開発保全航路の1つである細木航路(愛媛県宇和島市三浦半島先端付近)にて、災害現場を想定した操作訓練を行いました。

今後もこのような訓練を継続して続けていくことにより、実際に災害が発生した際の迅速な調査実施に繋げていきたいと考えています。



会議室での講習



現地でのデモンストレーション

若手職員コラム

保全課 保全係員の中矢と申します。平成29年度に新規採用として当事務所に配属され、2年目職員として日々業務に携わっております。愛媛県出身で、採用も愛媛県でしたので、愛媛在住21年目となります。

私は現在、松山空港エプロン※1 新設工事の現場監督を担当しております。空港工事は、空港の運営に支障を出さないよう主に夜間施工としておりますが、今回の施工箇所は一部工種が昼間施工可能であり、GSE 置場※2のコンクリート舗装撤去は昼間に行いました。現在は夜間施工を行っておりますので、昼間は発注関係業務を行いながら、定期的に真夜中の安全パトロールも行っております。

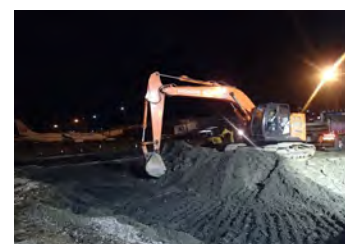
職場内においては、厳しくも優しい先輩方に囲まれ、新しい経験を次々とさせて頂いているところです。今後も自己研鑽に努め、「よりよい港・空港づくり」を目指して業務に取り組んでいきたいと考えておりますので、今後ともご指導の程よろしくお願い致します。

※1 飛行機を停める場所

※2 航空機を手助けする車両を停める場所



昼間：コンクリート舗装撤去



夜間：土砂撤去

編集後記

私が昨年の4月に採用されてから早くも1年が経とうとしており、月日の流れの早さに驚かされます。この1年間、先輩方にご指導いただきながら様々な業務に携わることができました。社会人1年目の私にとって、一から勉強しなければならないことだらけで悩むこともありましたが、回りの方々に助けていただき、とても充実した日々を過ごすことができました。4月からは後輩職員も入ってきますので、先輩として頼られるよう、より一層職務に励んでいきたいと考えています。



松山港にて石炭船を撮影

企画調整課 村上

< 事務所のご案内 >

■松山港湾・空港整備事務所

〒791-8058 松山市海岸通2426-1 【TEL】089-951-0161 【FAX】089-946-8010

■東予港出張所

〒799-1353 西条市三津屋南2-15 【TEL】0898-64-3650 【FAX】0898-65-5187

Coastline えひめ No.38 編集・発行 (紙面編集/井手上)

国土交通省四国地方整備局
松山港湾・空港整備事務所

【e-mail(企画調整課)】pa.skr-mtjm-i88s3@milit.go.jp
【URL】http://www.pa.skr.mlit.go.jp/matsuyama/index.html
【海とみなとの相談窓口】0120-497-370(全国共通フリーダイヤル)
受付時間 9:30~12:00、13:00~17:00(土・日・祝祭日・年末年始を除く)